

マレーシア・アジアパシフィック大学 帰国後アンケート 2019

回答者 1 (英語コミュニケーション学科)

学習について

① 授業について
<p>コースの初めに Writing, Reading, Speaking, Listening の4技能について2日間に分けてクラス分けテストが行われた。レベル 0-3(初級)クラスの授業は 8:00-14:00、レベル 4-6(上級)クラスでは 11:00-16:00 に行われ、毎日 4 時間の授業を受けた。0~3 クラスのレベルは文法の見直しを重点的に行い、レベル 4~6 クラスでは難易度の高く、難しいテーマを扱った。私はレベル 2 からスタートし、レベル 6 の途中で帰国した。最終クラス(レベル 6)は一クラス 10 人程度で韓国人学生が多かった。多くの学生は APU のアカデミッククラスに入る前の ESL として 0-4 クラスまでを受講し、その後正規クラスへ入学するため、レベル 5 以上はクラスの人数がかなり減った。</p> <p>課題の量はちょうど良く、毎日 1-2 時間は勉強し、余暇はまとめて週末にとっていた。2 週間に 1 回のプレゼンテーション、オンライン英語での 4 技能の学習、そしてテストが行われた。授業を通してリスニング、スピーキング能力が上がり、速読の力が養われた。日々の課題はパワーポイントで作成するものがあり、パソコンの持参は必要である。自習は寮の自室か、APIIT の自習室、APU 大学図書館で行った。教科書代など新たに必要な学習の経費はなかった。</p>
② 留学先での外国人留学生の割合
日本人 20% 韓国人 10% 中国人 30% その他 40%(イエメン、トルクメニスタン、アフガニスタン、サウジアラビア、イラン)
③ 留学先の行事について
室内ゲーム大会、ハロウィンパーティ、クリスマス、ニューイヤーパーティなどに参加した。多くのイベントがクラス対抗で行われていたのでクラスの交流が深まった。こうしたイベントに積極的に参加することで友人が増えた。
④ その他(次年度の派遣学生へのアドバイス)
コース開始日のオリエンテーションはすべて英語で行われるため、よく聞いておいた方が良いと思う。

生活について

① APU の寮について
<p>APU 留学生は基本的に Fortune Park に滞在するが、この他に 3 つほど寮がある。新しく、大学に近い寮は、すぐに定員に達するため、入居は難しい。</p> <p>Fortune Park は新しくはないが、掃除もゆきとどいており、快適な寮(コンドミニアム)だった。APU 学生以外にも、一般の家族も滞在していた。24 階建ての棟が数棟あり、1 フロアに 24 ユニットが配置されている。この寮の一人部屋も時期によってはすぐに埋まるようだ。2 人部屋が基本だが、個室の方が安全性が高いと思う。</p> <p>掃除はロビー、プールなどの共用施設や、各ユニット内の共有スペース(リビング、バスルーム)で定期的に行われている。各部屋のごみも室外に出しておく、処分してもらえる。寮の入口には警備員の方がおり、平日 9 時~18 時には管理人さんもいるので困ったことがあれば、解決してくれる。</p>
② マレーシアの英語について
APU の先生方の英語はきれいな発音で聞き取りやすいが、街のマレーシア人の英語はかなりアクセントが強い場合もあり、聞き取るのが難しかった。英語を話せない人もいた。

③ 食事について
寮にはガスコンロもレンジもないキッチンだったので、友人と外食をした。寮近隣に沢山飲食店があるため、友人と毎日通った。英語の通じない店員さんも多かったが、必ず、各店に1人は英語を話せる人がいた。口に合わないものもあったが、慣れた。水道水が濁っており、野菜や果物をとることが難しかったが、野菜ジュースなどで補った。
④ その他(次年度の派遣学生へのアドバイス)
マレーシアの仕事の進め方のスピードは遅く、なかなか思うように事態が改善されなかったり、トラブルがあってもなかなか対処してもらえず、不安が募ることがあった。何事もできるだけ早めの行動を心がけ、各種営業時間を確認して、きちんと対応してもらおうよう気を付けた方が良いと感じた。 この留学を後輩達へ勧めるが、自分から発信しないと、対処してもらえず、発信しても対処してもらえないことも多いので、自活力のある学生の参加を期待する。治安はあまり悪くないと感じたが、夜の一人歩きは危険だと思う。ブランド品や価値のあるものに身につけていると、盗まれたり、ひったくられたりすること可能性があるなので注意が必要だと思う。

お金の管理について

① 一ヶ月にどのくらいの生活費が必要でしたか？
平均して毎月約2万円程度の出費があった。(食費1.3万円/月、生活費5千円~1万円/月)
② クレジットカードや国際キャッシュカードなど、資金管理に何を使用していましたか？
銀行口座を開設作成するのは時間と手間がかかるため、デビットカードとクレジットカードを渡航前に作成し、持参した。私はデビットカードを持参し、親に日本からお金を振り込んでもらった。

健康管理について

① 渡航中の健康管理や体調について気になったことがあれば記載してください
水道水には注意が必要である。入浴や洗面は水道水を使用する為、到着後すぐにお腹を壊した。数か月後、目や口の周りにできものができた。日本の常備薬やおなかの薬を持参したほうが良い。
② 医療機関を利用しましたか？利用した場合は、その時の詳細を教えてください。
利用なし

その他

携帯電話・Wifi等について、どのようにしていたか教えてください。(現地で〇〇円で購入した、など)
日本で使用していた携帯電話のSIMカードを交換して使用
留学に持っていった方が良いもの、持っていく必要が無かったものについて教えてください。
大体のものはマレーシアで日本より安く購入することができる。ダイソーもある。外の暑さに比べて、建物の中はクーラーが極度に効いているため、上着は必ず持参が望ましい。薬や化粧品も成分が強いので、日本のものを持参した方がよいと思う。

実際に留学した感想教えてください。

大変なことも多かったが、APUでの授業は素晴らしく、英語力を身につけられた。先生方や、留学生の友人も沢山でき、かけがえのない経験になった。留学の本来の目的である、英語を学び、異文化交流と体験をすることができたので良かった。APUには様々な国々から留学生がきており、アジアのみならず、中東やアフリカの国々からも留学生が来ているため、各国の多彩な異文化を学ぶ事ができた。発展途上にあるマレーシアで、発展している部分と発展途上の部分が入交った環境で長く滞在し、新たな価値観を発見することができた。マレーシア留学はホームステイではないため、自分自身で人間関係を築き、自分のことは自分でやらなければならない、自立心を持って生活することができた。マレーシアはインフラが整っていない部分や衛生面で我慢が必要な部分もあるので、留学へ行く際は、きちんと覚悟し、万全な準備をしていくことが大切だと思う。